※令和４年度以降入学生用

学校番号	216

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	家庭総合「家庭総合」　（実教出版）						
副教材等	生活学 NAVI　（実教出版）、家庭総合学習ノート（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自身の家庭生活について興味や関心をもち、よりよい生活や社会につながるよう取り組みましょう。

・家庭生活に関係する様々な内容に対して、知識を身に付け、理解を深めます。
・家庭生活の様々な課題については、自分で考えてみたり、発表したり、グループで考えを共有したりして、よりよい家庭生活の営み方を考えます。
・実習や実験、視聴覚教材などから、知識や技術を体験的に身に付けます。
・これらの学習を通して、自分や社会の家庭生活が豊かなものになることをめざします。

2　学習の到達目標

・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的に身につけるようにする。
・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
・様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	自分らしい生き方と家族	1　自分の未来予想図を描こう 2　これからの人生をデザインする 1　自立と共生 2　ライフキャリア 3　共に生きる家族 4　家族に関する法律	a:・現在の生活時間の状況をふまえ、生活時間と労働との関係について理解できる。 ・青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解できる。 ・結婚、家族・家庭の多様化や、時代とともに変化する役割について理解できる。 b:・人生の各ライフステージの特徴と課題について知り、社会状況を考えながら、自分の生活や将来について考えを深め、発表などを通じて考えを表現することができる。 ・家族の変遷や家族に関する意識の変化、さらには、現在の家族の抱える問題・課題などについて、自らの考えをまとめることができる。 c:・現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲をもって取り組もうとしている。 ・労働、結婚、家族・家庭の役割など現在の社会的状況を踏まえて、自分とどうかかわっているのか、興味・関心を持とうとしている。	定期考査	定期考査 授業プリント ワークシート	授業プリント ワークシート 観察
	衣生活をつくる	1　人と衣服のかかわり 2　衣服の素材の種類と特徴 3　衣服の選択から管理まで 4　持続可能な衣生活をつくる 5　私たちがつなぐ衣生活の文化 6　衣服をつくろう	a:・衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ、用途に応じてどんな衣服が適切か理解できる。 ・衣服材料の性能と特徴、衣服整理についての科学的な知識や、縫製技術を身につけることによって、衣服を適切に選択し管理することができる。 b:・衣服の用途によって、適切な衣服素材を考え、判断するこ	定期考査 作品	定期考査 授業プリント ワークシート レポート	授業プリント ワークシート 観察 レポート 作品

※令和４年度以降入学生用

			とができる。 ・衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ、実生活での衣服管理において、適切な判断ができる。 ・作品に自分らしさを表現することができる。 c:・衣生活の文化や、自分の衣生活をとりまく状況について関心を持ち、衣生活の改善・向上に積極的に取り組もうとする。 ・被服実習において、製作活動に意欲的に取り組んでいる。			
2	ホームプロジェクト	○ホームプロジェクト	b:・家族の生活時間や、食・衣・住に関すること、ボランティア活動など、自分で関心のあること、また生活から見えてくる課題を探すことができ、それに対する具体的な解決方法を考え、自身の活動についてレポートにまとめることができる。 c:・ホームプロジェクトに意欲的に取り組み、生活課題を解決しようとしている。		レポート 発表	レポート 発表

※令和４年度以降入学生用

	住生活をつくる	1　人間と住まい 2　住まいの文化 3　住まいを計画する 4　健康に配慮した快適な室内環境 5　安全な住まい 6　持続可能な住まいづくり	a:・住居の機能や気候・風土とのかかわりに関心を持ち、各地の気候・風土に適した住まいを理解している。 ・住まいの文化や機能・役割、またライフステージや家族構成などと住まいの関係について理解している。 ・安全で快適な住まいや、社会環境・地域環境についての知識を身につけ、実生活に役立てることができる。 b:・ライフステージと住空間の設計の関係、住宅政策や住環境との関係について考えを深めることができる。 ・安全な住まいづくりや、快適な住環境のためにどのような課題があるのかを見つけることができ、その問題解決のための方策を考えることができる。 c:・住まいの文化や機能、住空間の計画や住環境ついて関心を持ち、快適な住まいづくり、よりよい住生活の創造に向けて意欲的に取り組もうとする。	定期考査 作品	定期考査 授業プリント ワークシート レポート	授業プリント ワークシート 観察 レポート 作品
3	経済的に自立する	1　暮らしと経済 2　将来のライフプランニング	a:・経済的な側面から人生設計を組み立てることができる。 b:・現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えを持ち、判断ができる。 ・将来のライフイベントとその費用を考えることができる。 c:・自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとし、短期・長期の経済生活について意欲的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 授業プリント ワークシート	授業プリント ワークシート 観察

※令和４年度以降入学生用

	生活設計	1　生活設計	b:・精神的自立、経済的自立、生活的自立、性的自立に向けて、これからの人生を考え、設計できる。 c:・家庭総合で学んだことを元に、人生設計に意欲的に取り組もうとしている。		ワークシート	ワークシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度